

甲子園懸け きょう決勝 はるか夢球場 13:00 開始

第99回全国高校野球選手権

青森大会

第99回全国高校野球選手権青森大会の決勝は27日、弘前市のはるか夢球場で行われる。昨秋、今春の県大会で優勝している王者・青森山田と2年

連続の夏の甲子園出場を目指す八学光星の対決。青森山田は8年ぶり、光星は4年連続の決勝進出。両校が決勝で戦うのは2008年以来9年ぶりとなる。午後1時試合開始。

28日、両校は青森市内で練習した。光星は、青森中央学院大グラウンドで約2時間練習した。野手は練習時間のほとんどを打撃練習に費やし、投手陣は本格的な投球練習は行わず、キャ

ッチボールや柔軟で調整した。

青番号1の福山優希投手(市川中出)は、ここまで4試合に登板したが「疲労は最小限にとどまっている」と好調をアピール。決勝に向け「一球が勝敗を分けるので、覚悟を持って挑む」と気を引き締めた。4番打者の小池智也も「自分の持ち味はフルスイング。チームを助ける一発を狙いたい」と力を込めた。

青森山田は同校のグラウンドで軽めの調整。全体練習では、ダッシュやストレッチなどで体を動かした後、シートノックで守備の連係を確認した。投手陣も投球はキャッチボール程度にとどめた。

ここまで3本の本塁打を放ち、チームトップの8打点を挙げている4番阿部健太は「強いスイングを心掛け、大事な場面で打っていきたい。投手が誰だろうと対応する」と自信をのぞかせた。

(金濱千優希、向中野一樹)

試合速報



秋春王者か、連覇か 青森山田VS光星 9年ぶり決戦



トスバッティングで打撃の精度を上げる光星の小池智也。青森中央学院大グラウンド

出し惜しみせず挑む

光星・仲井宗基監督 厳しいゲームを勝ち上がり、たくましいチームになってきた。青森山田の主戦三上投手は精神的にタフな選手。打者が攻略できるかが勝敗を分けるポイントになる。メンバーを出し惜しみせず、全戦力で挑む。決勝にふさわしい試合をしたい。

2度負けることは許されない

光星・吉田大樹主将 青森山田は昨秋の県大会決勝で敗れた相手。2度負けることは許されない。打線をつなぎ、最終的に1点でも上回ってほしい。序盤に先制点を奪い、自分たちの野球に持ち込めば勝てるはず。現チームは優勝経験がない分、懸ける思いは強い。